

## ご香典について

ご香典の表書きや袋は、故人の宗旨にあわせます。宗旨によって異なりますので注意しましょう。



### 通夜・告別式の香典の表書き

- 仏式  
一般的には、「御香典(御香奠)」・「御霊前」・「御香料」などがあります。  
「御仏前」は、一般的には四十九日以後の法事に用いますが、浄土真宗や禅宗では、葬儀でも「御霊前」ではなく「御仏前」とします。
- 神式  
「御玉串料」が一般的。「御柁料」・「御神饌料」・「御霊前」なども使われます。
- キリスト教式  
プロテスタントは「御花料」、カトリックは「御ミサ料」が一般的です。
- 宗旨がわからない場合  
確かめることができない場合は、「御霊前」や「御供料」にしますが、宗旨によっては正式ではありませんのでご注意ください。

### 香典袋

- 仏式  
水引きは、白黒または銀の結びきり。蓮の花の印刷やレリーフされたものは、神式・キリスト教式には使いません。
- 神式  
水引きは、白または銀の結びきり。
- キリスト教式  
水引きは、銀の結びきり、もしくはユリの花や十字架が印刷されて水引きの無いもの。

※香典袋の表には、水引きの上に名目、下に名前、裏面には住所・金額を書きます。中袋の表には金額、裏には住所・名前を書きます。仕事などの故人との関係が遺族にわかりにくい場合は、氏名を書くところに名刺を添付する事もあります。

## ご会葬のしおり



### 宗派別の形式及び焼香回数

宗派	焼香の回数	
■ 天台宗	1回または3回	
■ 真言宗	3回	
■ 浄土宗	1回～3回	
■ 浄土真宗 本願寺派	1回	※額に押し載かずに。
■ 浄土真宗 大谷派	2回	※額に押し載かずに。
■ 臨済宗	1回または3回	※特にこだわらない。
■ 曹洞宗	2回	※1回目は押し置き、2回目は載かずに。
■ 日蓮宗	1回または3回	
■ 日蓮正宗	1回または3回	
■ 神式	玉串奉奠	
■ キリスト教	献花にて	

※あくまでも、一般的な作法であり、上記の通りだけではございません。

## お花屋さんのお葬式 フラワーズ パートナー

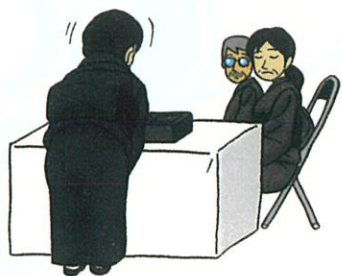
TEL 078-277-2740 FAX 078-777-6025

神戸市、明石市、芦屋市、西宮市、尼崎市24時間対応いたします。

〒651-0061 神戸市中央区上筒井通1丁目4-1 グランコート王子公園202  
兵庫支部 〒652-0871 神戸市兵庫区浜山通4丁目3-6  
HP : <http://flowers-partner.com> LINE@ID : @nxo7065m

# 一般的な焼香の作法と玉串奉奠の作法

■ **仏式** ※一般的な『抹香による立礼焼香』の場合。



① 順番がきたら焼香台の少し手前まで進み、遺族に一礼します。



② 焼香台の前に進み、祭壇の遺影に向かって合掌します。

③ 数珠を左手にかけ、抹香を右手の親指・人差し指・中指でつまみます。



④ つまんだ抹香を目の高さまで捧げます。

※この時、手のひらを返したり、左手を添えることはしません。  
※浄土真宗は、香を額に押し戴かず、そのまま香炉に落とし入れます。



⑤ 抹香を香炉へ静かに落とし入れます。

※宗派により回数が異なります(1回~3回)【別表参照】。  
※会葬者が多い時は、1回とする事もあります。



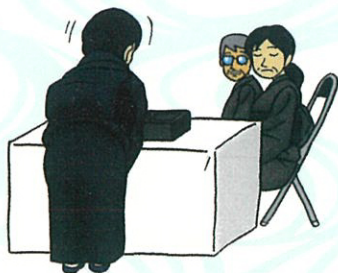
⑥ 数珠を両手に掛け持ち、再び遺影に向かって合掌。



※焼香の作法は、同じ宗派でも地域やお寺によっても変わってきます。

※どの宗派のご葬儀かわからない場合でも、ご自分の宗派の作法で焼香されてもよいでしょう。

⑦ 霊前を向いたまま少し下がり、遺族に一礼後、席へ戻ります。



■ **神式** ※仏式の「通夜」・「葬儀」を、神式では、それぞれ「通夜祭」・「葬場祭(又は神葬祭)」といいます。



① 神官の前に進んで一礼、玉串を受け取ります。枝の根元を右手で上から持ち、枝先が左にくるようにして受け取り、神官に一礼します。



② 祭壇の前の玉串案の手前で、玉串を軽く目の高さまで戴き、一礼します。



③ 玉串を時計回りに90度回転させます。

※玉串は、常に両手で支え、水平に保つようにします。



④ 玉串の根元を左手に持ち替え、さらに根元が祭壇に向くように半回転回したら、玉串案に供えます。



⑤ 正面を向いたまま3歩さがり、2礼2拍手1礼した後、神職と遺族に一礼し、席に戻ります。

※拍手は、音をたてない「しのび手」で行います。

